

プーチンの戦争を止めよう！

ウクライナに連帯を！

2.23 新宿デモ

●2月23日(木)午後1時30分集合/2時デモ出発

●新宿駅東口アルタ前広場

●呼びかけ ウクライナ連帯ネットワーク

Solidarity for Ukraine! Network (SUN)

090-1429-9485

自由と尊厳は誰も奪えない

昨年2月24日、ウクライナに全面侵攻した「プーチンの戦争」は世界に衝撃を与え国際情勢を一変させました。この1年、ロシアはウクライナをあからさまに侵略・占領し、集団虐殺や拷問、レイプ、強制連行等の残忍な戦争犯罪を重ねています。いまウクライナで、どれだけ多くの人々が戦禍に苦しみ命や生活を奪われ侵略の犠牲になっているか—彼ら彼女らが抱えている痛みを凝らして見て下さい。

ウクライナの人々は、戦力差で約10倍のロシア軍に対してどんなに犠牲を強いられても並外れた抵抗を示してきました。その不屈の戦いは、「我々から自由と尊厳は、誰も奪えない」ことを世界に、そして私たちに訴えているのです。侵略戦争の時代への逆行を止められ

るかどうか。「自由と尊厳」に対する私たちの姿勢・本気度が試されています。

では大ロシア主義に基づく侵略を「祖国防衛」のためだと正当化し「核の脅し」さえちらつかせる「プーチンの戦争」を止めるために、私たちは何をすべきでしょうか。独裁者プーチンが恐れているのは、NATOなどではありません。「自由と尊厳」のために声をあげ抵抗する人々に脅えているのです。ロシア軍の即時撤退を要求し全世界で声をあげることが今ほど求められている時はありません。

ウクライナ戦争に誰1人として無関係ではられません。この戦争は核戦争の脅威や食糧危機、エネルギー危機が私たちの生活を脅かしかねない現実を浮き彫りにしました。ロシアがクリミアを一方的に併合した2014年以降も、ドイ

ツなど欧州各国はロシアからの安価な天然ガスへの依存を深めたことで、「西側はロシアに逆らえない」と錯覚させ、プーチンの侵略・併合政策を増長させたと言えます。日本もまたロシアのサハリンから天然ガスを買っています。ロシアはそのお金を戦費(戦争資金)に回してウクライナを侵略し殺戮を重ねているのです。この現実から目を逸してはいけないと思います。

私たちは「ロシアの侵略を許さない」「ウクライナの抵抗を支持する」という立場に立って、屈せざる者ウクライナへの「敬意と連帯」を表明したいと思います。なぜなら、この侵略戦争を止めるためには、戦うウクライナに連帯しロシア軍を敗退させる必要があるからです。

「ウクライナに栄光あれ！」の声を世界中に響き渡らせましょう！

(文責・原陸)